

京大－ハイデルベルク大－理研ワークショップ

医学と数理

第1回のノーベル物理学賞がレントゲンに授与されるなど、医学の進歩は物理はじめ基礎科学の応用展開なしに語れません。京都大学では、2017年に京大高等研究院(KUIAS)と理化学研究所・数理創造プログラム(iTHEMS)が共同で理研-京大数理科学研究拠点(SUURI-COOL Kyoto)をスタートさせ、2018年にはKUIASに医学物理・医工計測グローバル拠点(CiMPhy)が、さらには2019年に京大理学研究科附属サイエンス連携探索センター(SACRA)が発足しました。

このような背景のもとで、ハイデルベルク大学(独)とCiMPhyにおいて臨床医学との連携を推進している田中求教授、理研iTHEMSの初田哲男プログラムディレクター、そして京大SACRA学際融合部門長の坂上貴之教授が協力し、『第1回京大－ハイデルベルク大－理研ワークショップ「医学と数理」』を2019年の10月にSUURI-COOL Kyotoにて開催し、ここでは主に数物系の研究者が意見の交換を行いました。

第2回目となる今回の会議では、融合分野研究に取り組んでいる臨床医学と数物系の第一線の研究者がそれぞれ最新の成果報告・意見交換を行い、「臨床医学の作業仮説」→「精密計測・定量解析」→「数理モデル構築」→「臨床医学へのフィードバック」を目指したネットワークを形成することによって、第1回目の会議の成果をさらに大きく展開・発展させることを目指します。

2020年9月18日|金|・19日|土|

9時30分～(18日)・10時～(19日)

会場

オンライン開催



田中 求
ハイデルベルク大学教授
京都大学高等研究院
CiMPhy部門長



初田 哲男
理化学研究所
数理創造プログラム
プログラムディレクター



坂上 貴之
京都大学教授
京都大学SACRA
学際融合部門長

■ウェブサイト・お問い合わせ先

<https://indico2.riken.jp/event/3327/>

E-mail: march2020workshop@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



■主催

京都大学高等研究院
理化学研究所 数理創造プログラム (iTHEMS)
京都大学大学院理学研究科 附属サイエンス連携探索センター

